

Congrats! Japanese heritage certification!

# おめでとう！日本遺産認定！

## 淡路島の古代の魅力を届けるニュースペーパー

Vol.2

2017年11月18日(土)に初めて開催された

日本遺産フェスティバルは、淡路島の歴史ストーリーを存分に味わってもらえる絶好の機会となりました。

同時開催の「食のブランド「淡路島」オータムメッセ2017」、

「御食国 和食の祭典in淡路島」もあわせ、

たくさんのお客様が足を運んでくださいました。、

今号では、日本遺産フェスティバルに出展したブースをご紹介！



11ヶ所の文化財が認定

### 淡路市

1000年前の製法を今に伝える淡路和紙、オリジナルLINEスタンプ、古代から国生みまでをつなぐアニメーション、高校生が伝える淡路島産の食材など、歴史の糸を今につなげるブースが集まりました。



8ヶ所の文化財が認定

### 洲本市

書道師範が手掛ける写経風の古事記、高級チョコと銅鏡がコラボした新商品、現代に再現される人形浄瑠璃の焼き印をはじめとした、日本遺産を新しい切り口で楽しませるブースが展開されました。



12ヶ所の文化財が認定

### 南あわじ市

小学生が今に継ぐ織り物、銅鐸をアレンジした風呂敷、古代米をつかった黒米おはぎ、古代の塩づくりからヒントを得た藻塩プリンなど、語り継ぐ担い手となる新しい商品が次々に生まれました。



# 3市で開催していた「まちづくりカフェ」で実際に使ったワークシートをご紹介します！

7月から毎月一回、淡路市、洲本市、南あわじ市の3つの場所で、市民参加型として開催をしてきた「淡路まちづくりカフェ」。毎回、たくさんの市民の皆さんのが集まり、日本遺産に選ばれた古代の文化財について学び、その面白さをもっと多くの市民に伝えるため、みんなで意見交換しながら考えてきました！第二号となる今回は、まちづくりカフェの中で参加者の皆さんと実際に盛り上がったワークシートの解説をしていきます。

## まちづくりカフェ 参加してくださった市民の皆さん、県立高校の学生たちと活用したワークシートの数々

### まちづくりカフェとは？

縄文時代・弥生時代の歴史的な文化財の素晴らしいを、文化庁から認められた日本遺産。これからどんどん広がっていく予定ですが、実際のところ、約2000年前の淡路島の風景って、現代に残っているものが少なすぎて、市民の皆さんに「古代」の魅力がなかなか伝わらないという難しさがありました。そこで、まちづくりカフェでは、参加者の皆さんとともに古代のことを学び、たくさんの市民の皆さんに魅力を伝えていくということを目的として、さまざまな対話を重ねてきました。



### 企画を考えるためのもの

淡路市を感じ上げるために ~活動費が、もし10万円があったら~	
1. 淡路市の誰のために取り組みたい？	
<input type="checkbox"/> 子どもたちのため <input type="checkbox"/> 大人たちのため <input type="checkbox"/> 高齢者のため <input type="checkbox"/> 動物のため <input type="checkbox"/> その他( ) 具体的に	
2. 淡路市のどんな目的をプラスにするため？	
<input type="checkbox"/> 権限のため <input type="checkbox"/> つながりのため <input type="checkbox"/> 出会いのため <input type="checkbox"/> 日本のため <input type="checkbox"/> 広報PRのため <input type="checkbox"/> ビジネスのため <input type="checkbox"/> その他( )	
具体的に	
3. 具体的に、10万円でどんなことをしてみたいですか？	
もし、実現できるなら、 を したい！ 具体的に	

イベントや体験プログラムを考える際、「対象」と「目的」を明確にしておくことがとても大切！ワークシートでも、まずは「誰を対象にするか」についてチェックをします。例えば、子どもたちのため。その他にも、大人たち、高齢者、環境のためなど。さらに、目的についても、つながりや出会い、地域のためなどを考え、しっかりとアクションに向かう準備を整えます。

### 高校生とパッケージを考えた

届けたいお客様のイメージ	
<input type="checkbox"/> 10代男性 <input type="checkbox"/> 10代女性 <input type="checkbox"/> 20代独身女性 <input type="checkbox"/> 20~30代子育て男性 <input type="checkbox"/> 20~30代子育て女性 <input type="checkbox"/> 40代以上のおじさん <input type="checkbox"/> 40代以上のおばさん	
パッケージに載せたい「商品の強み」「オススメ情報」	
例) 淡路島で作られた小麦粉を使っています。 例) 高校生がすべて手作りで作っています！ .         .         .	
どのくらいの値段だったら、自分で買いたいですか？	
円 ~	円

県立淡路高等学校の高校生に向けて授業。パッケージのデザインの「対象」と「情報」について徹底的に考えました。

新商品のパッケージについて考えてみよう！	
学年/クラス	氏名
デザインティピスト キーワード	
<input type="checkbox"/> 可愛い・キュート <input type="checkbox"/> カラフル <input type="checkbox"/> ポップ <input type="checkbox"/> コラフル <input type="checkbox"/> コーナー <input type="checkbox"/> にぎやか <input type="checkbox"/> クール <input type="checkbox"/> シンプル <input type="checkbox"/> 激しい <input type="checkbox"/> 洗練	
カラーメージ	
<input type="checkbox"/> 黒系(若狭い・濃くみる) <input type="checkbox"/> 水色系(さわやか・涼やか) <input type="checkbox"/> 緑系(健やか・チカラ) <input type="checkbox"/> オレンジ系(ポップ・にぎやか) <input type="checkbox"/> グレー系(重厚・シック・高級感) <input type="checkbox"/> 白系(純潔)	

デザインを作るために必要なのは、ハッピーな想像力！「デザインティピスト」を考えた「カラー」を選び、無限の可能性を思い描きます。

### ワークショップの目的

ワークショップで考えたいこと		
「日本遺産ってコレ！」と旅行客に伝えてほしい 「日本遺産に選ばれること」を誇りに思ってほしい		
日本遺産に詳しく述べる ためには? 小さな説明文や地図をどう楽しく伝えられる？	古代に興味を持つてもらう ためには? 地域に詳しい説明文をどう楽しく伝えられる？	地域に誇りを感じてもらう ためには? 地域に詳しい説明文をどう楽しく伝えられる？
子どもたちに地域を知ってもらいたい！ 小中高に亘り地域の魅力を伝える授業を作成する？	地域や学校を巻き込んでいく ためには? 子どもたちを巻き込んだ授業を開発する？	淡路島を自慢できるようにするには? 実や観光、理屈の魅力を伝えていく方法？

まちづくりカフェに参加する目的はさまざま。一人一人の目的を以下のカードで再確認。

### 企画を考えるためのもの

洲本市の歴史を 伝えたいんだ 伝えたいためには どんな方法が良いでしょうか？	洲本市の良さを 伝えたいんだ 伝えたいためには 何がいい？	洲本市の良さを 伝えたいんだ 伝えたいためには 何がいい？
---	--	--

企画の考え方方は、大喜利に似ています。現場では、地域を元気にするネタがいっぱい！

## ひょうご歴史研究室 in 淡路島・淡路島日本遺産海人の調査研究事業

日時 2018年2月4日(日) 13:00~16:30 入場無料 開場受付:正午(先着順/固定席220名) 場所 淡路市立サンシャインホール(淡路市浦148-1 電話:0799-74-0250)

平成27年4月、兵庫県立歴史博物館に開設された「ひょうご歴史研究室」と、淡路島日本遺産委員会は、これまで淡路島の「あ海まん」や「国生み神話」をめぐる共同研究をすすめてきました。このシンポジウムでは、その成果を3人の研究者が、文献史学と考古学の立場から、わかりやすく講演し、討議します。

## EVENT GUIDE イベントガイド

- 講演①**  
古市晃 (ひょうご歴史研究室客員研究員／神戸大学准教授)  
**「古代の淡路島と海人」**
- 講演②**  
伊藤宏幸 (淡路市教育委員会・文化財活用等担当部長)  
**「考古学からみた淡路島の海人」**
- 講演③**  
坂江渉 (ひょうご歴史研究室研究コーディネーター)  
**「国生み神話と古代の海人」**

**シンポジウム コーディネーター**  
高橋明裕 (ひょうご歴史研究室客員研究員／立命館大学非常勤講師)  
定松佳重 (南あわじ市教育委員会社会教育課課長補佐)

**アクセス:**バス JR高速バス・大磯号に乗り、「東浦バスターミナル」で下車してすぐ(三ノ宮バスターミナルより約1時間、高速舞子より約30分)  
島内路線バスも「東浦バスターミナル」で下車  
**車** 神戸淡路鳴門自動車道・東浦ICで降りて約5分  
**駐車** 約60台駐車可。満車の場合は、北隣の「東浦ターミナルパーク」の駐車場をご利用下さい

## 「淡路島古代史の魅力を探る -海人と国生み神話-」シンポジウム



主催 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室  
淡路島日本遺産委員会

(構成団体: 洲本市・洲本市教育委員会・南あわじ市・南あわじ市教育委員会・淡路市・淡路市教育委員会・淡路県民局・(一財)淡路島くにうみ協会・(一社)淡路島観光協会・(一社)淡路青年会議所)

後援 兵庫県立考古博物館

お問い合わせ先 | 兵庫県立歴史博物館 TEL 070-0012 姫路市本町68  
TEL 079-288-9011  
29番地-255A4



JAPANESE HERITAGE

## 日本遺産フェスティバル

2017年11月18日(土) 11:00 - 16:30



さらら98／淡路市

## 淡路島 日本遺産がかわいいLINEスタンプに！

淡路市在住のクリエイターが、日本遺産に選ばれた文化財に「ダジャレ」を組み合わせた、全く新しいLINEスタンプを登場させました。文化財31か所をはじめ、淡路島全体を含む32のLINEスタンプが一部の日本遺産ファンの間で人気になりました。ブースでは、スタンプの紹介をはじめ、キャラクターの塗り絵体験など、文化財のおもしろさに触れられる仕掛けがいっぱいでした。

淡路島日本遺産×だじゅれスタンプ  
は、以下のURLから購入が可能。淡路島の島内・島外の友達やお知り合いに、是非、活用してみてください。

<https://store.line.me/stickershop/product/1716039>



兵庫県立淡路高等学校／淡路市

## 高校生が作る国生みプレッツェル



兵庫県内で唯一調理師免許を取れる県立高校として有名な淡路高等学校。農業高校の精神を引き継ぎ、今まで、いちごジャム、ビスケットなどの新商品を開発していました。今回は、新たに手掛けている淡路島産の小麦粉を使用した、4種類のプレッツェルの試食アンケートを実施。多くの意見が集まり、完成に向けて、また一步近づきました!

まちづくりカフェの一環で、学生とともに商品のパッケージデザインを考える授業を開催。ブースでは、4種類のパッケージについてのアンケートもを行い、担当していた学生たちにも多くの気づきを生み出しました。



和紙工房 松鹿／淡路市

## 島内で原材料から育てた天然素材の和紙に触れる

淡路島で唯一の和紙工房。1000年以上昔の製法を研究し、素材となるくわ科の落葉低木である楮(こうぞ)を育てるところから、時間をかけて天然和紙作りに力を注いでいます。ブースには、淡路島特産の玉ねぎやコアラの餌のユーカリを使った染め紙や皮入りの紙などが並び、珍しい紙を手に取りながら、熱心に和紙作りのお話に耳を傾ける方も多いいらっしゃいました。

淡路島における手漉和紙の歴史は古く、古代において戸籍用紙を提出した16の国一つに挙げられているほど。淡路には昭和20年代まで紙漉きの産業があったそうです。淡路と紙に触れたい方は、淡路市長澤のギャラリーまで。



国生みの物語がアニメ化！

## 国生みの物語がアニメ化！

淡路島の日本遺産のストーリーが、屏風に投影するプロジェクトマッピングになって、会場を演出。淡路島が古事記に描かれるまでの古代から現代までの時代の流れを、「鉄器」「海人」「御食つ国」などがかわいらしくアニメーションとして放映されました。設置場所であるしばえもん座のエントランスには立ち止まる来場者が続出。

まちづくりカフェから生まれた新しいアニメーションは、2017年12月に淡路市役所の大きな壁面に投影され、新聞でも話題に。淡路島日本遺産のYOU TUBE公式チャンネルでも、動画としてご覧いただくことが可能になりました。



<https://youtu.be/PKn22vmj8zY>

地域の女性ファンに愛されている「KEKKOI」は、讃岐弁で「美しい、きれい」の意味を持つとのこと。クッキー以外にも、スイーツ、アイシングクッキーも手掛けており、商品は店舗で継続的に購入可能。



KEKKOI／南あわじ市

## 松帆銅鐸がキュートなキャラのクッキーに！



南あわじ市市円行寺でおしゃれなうどん＆クッキーを提供する「KEKKOI(けっこい)」。店主が沼島の働いていた経験もあり、今回登場したオリジナルクッキーは、沼島をはじめ、淡路島、そして注目を集め続ける松帆銅鐸の形をしたものが商品化されました。クッキーのおいしさとともに、日本遺産の魅力が多くの人へ伝わりました。



ミレット マルシェ ソラ／南あわじ市

## 雑穀マイスターが手がける黒米おはぎ

南あわじ市櫻列で雑穀マイスターが手がけるグルメ店「ソラ」。雑穀の奥深さを知り尽くした店主が、古代から現代まで残りつづける黒米のおいしさを存分に引き出した新作おはぎを販売。古代人も食べていた雑穀の奥深さや美味しさに、来場者からも「おいしい！」の声がたくさん届いていました。販売をしていたきび粉100%のきびだんごとともに、すぐに完売してしまうほどの人気。

黒米おはぎの商品パッケージは、まちづくりカフェで生まれた全く新しいオリジナル。古代米の奥深さとおはぎのおいしさを伝えるために、店主の想いを伝えるパッケージとして、日本遺産フェスティバルに向けて誕生しました。



洲本  
司

今や、全  
イベント  
多く見ら  
使った  
は、2日  
の人気  
に魅力

洲  
ス  
勤  
た  
権  
品  
驚  
な  
現  
で  
み

南あわじ  
市

南あわじ  
なってい  
を作ること  
の小学校  
り豊かな  
学校の子  
常にお客

洲  
ス  
勤  
た  
権  
品  
驚  
な  
現  
で  
み



本庄酒造／南あわじ市

## 包むプロに教わる風呂敷の包み方体験

松帆銅鐸をモチーフにした新しいデザインの風呂敷がデビュー。南あわじ市を代表する銅鐸の形を北欧風にアレンジした「どうたく風呂敷」のお披露目とともに、ブースでは包み方のマイスターが教える風呂敷の使い方ワークショップも開催されました。大人から子どもまで、普段は使い慣れない風呂敷のおもしろさのトリコに。

古代の文化財のデザインを、伝統的な風習である風呂敷と掛け合せた日本遺産の代表的な新商品。「どうたく風呂敷」は、南あわじ市阿万の清酒「南長」で知られる本庄酒造のホームページにて継続的に販売中。



淡路島牛乳／南あわじ市

## 塩づくりの島ならではの藻塩プリンとショーアイス



日本遺産のキーワードの一つである「海人」。古代の住民である海人族は塩づくりに長けていたということから、古くから作られてきた藻塩を用いた「淡路島藻塩プリン」。そして、日本遺産にも認定されている鳴門の渦潮をイメージして作ったショーアイスを販売。海水をイメージしたクリームの青さに、お客様は驚きっぱなしでした。



歴史的な発見といわれている弥生時代の松帆銅鐸が、巨大なチョコに!飾られているだけでも、来場者からの視線を多く集めていました。3月には、この大きなチョコレートづくりのワークショップを開催予定のこと。

# HERITAGE FESTIVAL フェスティバル

11:00  
16:30 in 洲本市文化体育館

REPORT



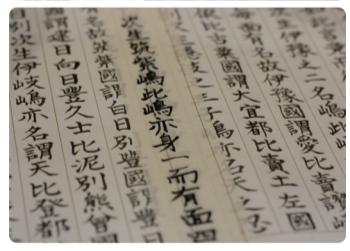
木と布だけ構成されたシンプルな会場ブースをはじめ、国生みの物語を紹介するパネル、松帆銅鐸のレプリカなど。古代をテーマにした淡路島の日本遺産の魅力を落ち着いた空気の中、伝えていくイベント会場。

昨年11月18日(土)、洲本市文化体育館にて日本遺産に認定されて初めて、市民の皆さんが主体となる日本遺産フェスティバルが開催されました。会場には「まちづくりカフェ」の参加者が数か月をかけて考えた「古代」をテーマにしたブースがずらりと並び、会場をいっぱいにした数千人の来場者に日本遺産の魅力を伝えていました。

## 淡路島 日本遺産フェス 遂に開催されました!



- WORKSHOP 体験
- EXHIBITION 展示
- FOOD 食べ物
- SHOP 物販



洲本市 東田裕美／洲本市  
写経ならぬ写古事記で  
初めての体験!

現存する日本最古の歴史書「古事記」。読み方は「こじき」または、「ふることふみ」と呼び、712年に天武天皇の命によって書物としてまとめられました。この中に描かれている日本がいかにつくられたのかを伝える国生み神話の中で、淡路島についての一節を、書道師範の東田氏が写経のように自分で書ける全く新しい「写古事記」にしました。

ブースでは、東田氏が目の前で教えてくれる写古事記体験も実施されました。おそらく日本初の写経風の古事記の存在に、新聞や地域メディアも大注目。写古事記が欲しいという方は、東田氏に是非、ご連絡を。

洲本市 福祉施設／洲本市  
洲本の3つの福祉施設が  
生んだ新スイーツBOX

おのころ家、アミアミ、コスマス事業所の3つの福祉施設が、淡路島の日本遺産LINEスタンプをデザインした新しいパッケージの商品を発表。手のひらサイズの商品の1つ1つには、日本遺産に認定された文化財がキャラクター化され、淡路島の古代の魅力をキュートさ、そしてもちろん、スイーツの美味しさとともに来場者に伝えてくれました。

今回の新商品が作られていくまでの工程には、スイーツづくり、パッケージングなど、福祉施設に通う障害のある方が関わっています。日本遺産が地域とコラボできる素晴らしい事例を生み出してくれました。

南あわじ市立倭文小学校／南あわじ市  
小学生たちが歴史的な織物を直接、紹介

当日はバスに乗って会場にやってきた子どもたち。大声で呼びかけたり、ブースを飛び出して売り込みに行ったり、会場を明るく盛り上げてくれました。倭文織りに興味がある方は、倭文小学校の活動をチェックです。

